

Confession

コンフェッション

知っておきたいキリスト教のことば (109) 信仰告白 しんこうこくはく

日本聖公会の祈禱書 258 ページに載っている教会問答には、このような質問があります。「教会の信仰を言い表しているのは何ですか」。その答えは「使徒信経とニケヤ信経です」となっています。

教会は古くから、イエス様に対する信仰を定式化された表現で表してきました。たとえば次の言葉は、イエス様の死と復活のあと、10年程の間に成立していたと考えられています。

すなわち、キリストが、聖書に書いてあるとおりわたしたちの罪のために死んだこと、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおり三日目に復活したこと、ケファに現れ、その後十二人に現れたことです。(コリントの信徒への手紙一 15 章 3b~5 節)

この言葉を、コリントの信徒への手紙の著者であるパウロ自身も受け取り、さらに伝えていったのです。

新約聖書には他にも、信仰告白の断片をみることができます。その中で、イエス様の死と復活について告白するものがあります。たとえば一テサロニケ 4 章 14 節、二コリント 5 章 15 節、ローマ 14 章 9 節などがあります。

さらにイエス様が主であること(ローマ 10 章 9 節、一コリント 12 章 3 節、フィリピ 2 章 11 節)、イエス様が神の子であること(ローマ 1 章 3~4 節、ガラテヤ 4 章 4 節、マルコ 1 章 11 節など)、イエス様がキリストであること(マルコ 14 章 61~62 節、使徒 3 章 20 節、一ヨハネ 5 章 1 節など)を宣言している箇所も、信仰告白であると考えることができます。

わたしたちも主日にニケヤ信経を唱えるときは、ただ言葉を追うだけではなく、一つ一つの意味を噛みしめ、わたしたち共同体の信仰を、喜びをもって告白しましょう。

次回は「神殿」です。お楽しみに。



「聖ペトロへの天国の鍵の授与」

ペルジーノ

(1448 頃 - 1523 年)

口でイエスは主であると公に言い表し、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。

(ローマの信徒への手紙 10 章 9 節)

